

衛靈夫人

【衛靈公】前五三四—四九三在位。
【夜坐】夜のつれづれに座談しているのである。

【聲】一 声 おと。

【闕】ケン へ補注。闕、兩儀也。宮門有雙闕。
【酌】補注。酌、當作爲。へ校注。古書多以酌作爲。

【遽伯玉】キヨ・ハクギヨク 名は遽、孔子をして「君子なるかな遽伯玉」(論語)とまで言わしめた衛の賢大夫。

【庭下公門式路馬】礼記曲礼上のことば。鄭玄注、「皆敬也。路馬、君之馬。」式、式シ。タリ候。礼法の一つで、車の前部の横木に手をつけて礼をする。

【不爲昭昭信節】校注。信、古申字。申、申。此は防殺する意。節は、忠節。昭昭は、明るくて人目の及ぶこと。

【不爲冥冥隨行】校注。隨、與、衛同。冥冥は、暗くて人目の及ばないこと。

【敬】つしむ。

【闇昧】アンマイ 闇も昧も、暗い。

【公反之】へ補注。反之、明不以實告也。

【隨】シヤウ・角部 一 隨

【寡人】クワジン 諸侯の自称。寡徳の人の意からいう。

【爾】ニ 耳 【爾】ニ 等

【明於知人道】補注。道字、疑衍。知は、よく見分けるの意。

【可欺而不可罔】論語。和也。和のことば。「欺くへ、を、罔よへからざるなり」罔は、しよ目をくらますの意で、思慮を失わせること。

【詩云】詩經小雅、何人斯爾。「我その声を聞き、その人を見ず」

衛靈公之夫人也。靈公與夫人夜坐、聞車聲麟麟。至闕而止、

過闕復有聲。公問夫人曰、知此謂誰。夫人曰、此必遽伯玉也。公曰、何以知之。夫人曰、妾聞禮、下公門、式路馬、

所以廣敬也。夫忠臣與孝子、不爲昭昭信節、不爲冥冥墮

行。遽伯玉衛之賢大夫也。仁而有智、敬於事上。此其人必不以闇昧廢禮。是以知之。公使視之、果伯玉也。公反之、以

戲夫人曰、非也。夫人酌觴、再拜賀公。公曰、子何以賀寡人。夫人曰、始妾獨以衛爲有遽伯玉爾。今、衛復有與之齊

者。是君有二賢臣也。國多賢臣、國之福也。妾是以賀。公驚曰、善哉。遂語夫人其實焉。君子謂、衛夫人明於知人道。夫

可欺而不可罔者、其明智乎。詩云、我聞其聲、不見其人。此之謂也。

頌曰、衛靈夜坐、夫人與存。有車麟麟、中止闕門。夫人知之、必伯玉焉。維知識賢、問之信然。